

校長講話「弱音を吐いていいんだよ」6/29

学校再開から1か月が経ち、今週から7月です。その間、みなさんは、お休みしていた間の学習を取り戻すかのように、一生懸命学びに向かい、学校生活を楽しんでできました。とても立派だと思います。今年の夏休みまで、あと1か月となりました。つまり、一学期のちょうど半分が終わり、折り返し地点に来たということです。あっという間ですね。

3年生以上は、先週から6時間授業が始まっています。モジュールを入れると実質7時間授業です。慣れないこともあり、少し大変だと思います。でも、今が頑張り時です。

1学期の6時間授業は、あと3週間だけです。そのあと、8月末まで、夏の特に暑い時期は、午後は15分間のモジュールだけとします。毎日、2時前に下校となります。

これからも、メリハリをつけて、授業の時間を決めていきますので、頑張る時は、気持ちを引き締めて全力で頑張ってください。今日からの3週間が、その頑張る時です。

さて、今月は、「ふれあい月間」です。今お話したように、学校が再開してうれしい半面、心や体が少し疲れてくる時期です。そんな時に、人の優しさや思いやりに接すると、心がとても穏やかになり、元気が出ると思います。

そのため、「ふれあい月間」には、この時期に、道徳の授業や学級活動、SOSの出し方授業などを通して、お友達を大切にすることや思いやりの気持ちについて、特に考えてほしいという願いが込められています。

今日は、最後に、校長先生からお願いがあります。「ふれあい月間」の取組の中でも学ぶと思いますが、みなさんが、疲れたときや、困った時、悩みがある時、つらい時などは、ぜひ、先生方に相談してください。ささいなことや、小さなこと、どんなことでも、先生方はお話を聞いてくれます。

学校は、一生懸命頑張って、自分を鍛えるところですが、いつもいつも頑張り続けるのは無理です。ですから、時として、弱音を吐いてもいいのです。

1人で悩まず、弱音を吐いた方が、すっきりします。弱音を吐ける方が、勇気があるとも言えます。困った時は、ぜひ、弱音を吐いてください。